



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2015-2016 年度  
9月号  
NO. 312

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町センター内 TEL 03-3615-5568

強調月間

ユース

国際会長：Wichian Boonmapajorn(タイ) 主題：「信念のあるミッション」  
アジア地域会長：Edward K.W.Ong(シンガポール) 主題：「愛をもって奉仕をしよう」  
東日本区理事：渡辺 隆(甲府) 主題：「原点に立って、未来へステップ」  
関東東部部長：鈴木雅博(東京江東) 主題：「チェンジ！！」  
東京ひがしクラブ会長：鮎澤正和 主題：「変化と継続！クラブ一丸！！」

### 9月例会

と き 2015年9月10日(木)  
18:30~20:30  
ところ 東陽町センター「視聴覚室」  
受付:野本多美子  
司会:竹内 聡

#### ☆プログラム

開会点鐘 会長 鮎澤正和  
ワイズソング/ワイズの信条  
会長挨拶  
ゲスト紹介  
鈴木雅博関東東部訪問挨拶  
食前の感謝/食事  
おめでとう誕生日/結婚記念日  
ゲストスピーチ  
「東日本大震災から学ぶ」  
～東京 YMCA 国際ホテル学校の取り組み～  
卓話者：浦崎暁子氏  
(国際ホテル専門学校 学生支援室長)  
スマイル/各種報告  
閉会点鐘 会長 鮎澤正和

#### 今月の誕生日

金丸優美子 ネット(22日)

#### 🔑 今月の聖句 🔑

『わたしたち強い者は、強くない者たちの弱さにならなければならない。自分だけを喜ばせることはしてはいけない。』

—ローマ人への手紙第15章1節—

### ユースボランティア

東陽町ウエルネス 杉田裕樹

東陽町ウエルネスセンターでは、多くのユースボランティアの力があります。特に野外活動のキャンプや定例野外活動で多く活躍し、今年の夏では、40名ほどのユースボランティアが指導者の担い手となり、子どもたちの安全を守ると共に、素敵な夏の体験を通し、子どもたちの笑顔をたくさん作ってくれました。

ユースボランティアは、キャンプ当日のみ関わるわけではなく、そのキャンプが始まる3か月前から、『リーダー会』といわれるプログラムの内容を、自分たちでディスカッションをして、話し合っていく会を何度も繰り返し行い、当日を迎えます。それと同時進行で、指導員としてのスキルアップの為に講義や、実際にプログラムを通しての実技トレーニング(リーダートレーニング)に参加をして、指導者の面も強めていきます。

東陽町のユースボランティアの多くが、幼稚園・保育園の教員や子どもたち向けの、スポーツインストラクターを目指しています。私自身も東陽町でユースボランティアの経験を経て、現在YMCAの職員として活動をしています。私自身ボランティアでの経験が自分自身を成長させ、なにより子どもたちの無限の可能性を肌で感じて、その可能性に少しでも携わりたいという思いを生みました。また、キャンプに参加することでたくさんの経験もできますが、何より新たなコミュニティの場となり、かけがえのない仲間を増やすこともできます。正直なところ楽しいことだけではありません。笑いあり、涙ありのボランティアの経験を、たくさんの青年たちに体験してもらいたいという願いも、持ちながら活動をしています。そしてその経験が、子どもたち・青年たちの未来につながるものになるよう取り組んでいます。

#### 8月例会

出席者 12名 ネット 1名  
会員出席数 8名 コメット 名  
在籍数 12名 ゲスト 3名  
(広義会員2名) メンシップ 1名

会員出席率 90%

#### スマイル

7月  
7,000円  
累計  
7,000円

#### プルリング

累計  
kg

#### 2015-2016 年度役員

会長 鮎澤正和  
副会長 須田哲史  
書記 森村 実  
会計 野本多美子  
担当主事 花井雅男

## 8月例会（納涼）報告

書記 森村 実

8月6日の18時より、地下鉄東西線の木場駅前に構える今井商店「イーズ」にて、8月納涼例会が開催された。須田副会長の司会により、鮎澤会長の開会挨拶で始まり、下記全ての議題について打合を完了してから、高野メンの発声により乾杯・歓談へと移った。

本日の納涼例会には、関登志子さん、軍司純江さん、浦崎暁子さんのゲスト3名が参加され、なごやかな雰囲気であつという間の2時間半でした。今月の誕生日である竹内 聡メン(29日)、須田由美子メット(22日)を紹介し、最後に、高野メンの閉会の挨拶、記念撮影でお開きとなった。

★下記は、納涼の前段に行われた例会内容。

- ・関東東部評議会報告（議案内容は8月号に掲載）
- ・アジア大会報告
- ・各種報告・連絡・相談
- (1)東日本区区報（2015.7.1.発行 第1号通巻54号）関東東部部報は9月例会で配布する。
- (2)今後の各行事について以下打ち合わせた。
  - (a)8月29日（土）東京YMCA夏祭り  
例年通り、災害支援コーナーの物販支援、海鮮焼の2つを担当。11時スタート。
  - (b)9月10日（木）講師例会  
YMCAホテル学校に関する話を講師にお願いする予定。
  - (c)9月23日（水）チャリティーラン  
チーム東陽町として3チームエントリー。内、消防署から1チーム出場。模擬店は東陽町コミが担当。ひがしの協力をお願いする。
  - (d)10月3日（土）関東東部部会  
清澄庭園大正記念館で開催される、第19回関東東部部会の案内パンフレットを配布し積極的参加を求めた。
  - (e)10月8日（木）講師例会  
9月の例会で計画を発表する。
  - (f)10月17・18日（土・日）江東区民まつり  
今年の参加料が、昨年の35,000円から40,000に値上がりとなるため、参加の可否について再確認が求められたが、協議の結果、参加することが決議された。（9月11日に説明会）
  - (g)10月24日（土）グランチャ東雲まつり



\*\*\*\*\*

### 第19回関東東部部会

日時 2015年10月3日(土)  
14:00~18:30

場所 清澄庭園内大正記念館

会費 4,000円

第1部 部会・式典

第2部 講演：ワイズを考える  
岡本尚男氏（元日本区理事）

第3部 懇親会

## 東京YMCA夏まつり

前日28日夕方の設営準備から、今年の夏まつりがスタート。18時から開始されたウエルビーの設営準備は、模擬店配置、提灯張りなどみんなの協力で設営完了。怪しい天気に一抔の不安を抱えたが、明日の天気を祈り終了した。

29日は小雨交じりの中、各模擬店の準備が賑やかに行われ、テラスではブルーシート張り作業。手際良く準備が進められ、無事開会式を迎えた。11時、アトリウムで開会式が行われ2015年夏まつりがスタートした。ひがしクラブは、被災地支援物品販売コーナー（須田、野本、飯田メット）と、焼鳥&海鮮焼（飯田、金丸、ダイビングクラブ）に分かれ奮闘。心配した天気も小雨が時折パラつく程度で収まり、多くの来場者でにぎわい活気がみなぎる。時間が進むにつれウエルビー内は、煙と熱気で最高潮。海鮮焼コーナーも長い列が出来、焼き手は休む暇もない中、日本語学院のグエン君の応援は助かった。埼玉クラブ衣笠会長も激励に訪れてくれました。

メインは、お馴染みフルバンドのドリームスクエア・ジャズ・オーケストラによるジャズ演奏。そして、一喜一憂のお楽しみ抽選会とこどもじゃんけん大会で、大盛り上がりで今年の「オール東京YMCA夏まつり」は終了した。



### YMCAコーナー

担当主事 花井雅男

▼4月25日に発生したネパールの大地震の為の緊急支援金は、多数の個人・賛助企業のご協力があり、6月末日で約220万円の寄付が寄せられた。募金は日本YMCA同盟を通し、ネパールYMCAに送金され、チャイルドケアセンターの施設改修やクニサニバリにある国立ブッタ小学校再建、小学生200人への奨学金提供などに用いられる予定である。

▼石巻支援センターではこの夏も全国から多くのボランティアを受け入れた。社会体育・保育専門学校生による石巻小学校夏休みプール指導は5年目となった。この他国際ホテル専門学校、医療福祉専門学校の学生はそれぞれの特色を生かした活動を行った。また山手センター高校生ボランティア「カラフル」は今年初めて参加し、草刈りや農作業を行った。

▼8月29日「東京YMCA夏まつり」が開催された。焼き鳥などの各模擬店、子どもゲームコーナーなどが出店し、例年と変わらず大賑わいであった。高等学院やLibyの生徒や水泳クラスの子もたちも模擬店を手伝い若い方々の活躍もあり、約50万円の益金を得ることが出来た。

▼今後の主な行事予定

- ・9月5日：国際協力街頭募金（新宿駅周辺に変更）
- ・9月6-11日：第19回アジア・太平洋YMCA大会  
（韓国・デジョン）
- ・9月11-13日：第28回ユースボランティア・リーダーズフォーラム  
（山中湖センター）
- ・9月23日：第29回インターナショナルチャリティーラン（木場公園）
- ・9月25日：山中・野尻湖キャンプ施設整備のための  
小さな秋のコンサート（霊南坂教会）
- ・10月25日：会員部ソフトボール大会（出版健保グラウンド）